

特定非営利活動法人 会員誌

# ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail [fureainpo@gmail.com](mailto:fureainpo@gmail.com)

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



6・7月号  
令和6年5月24日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420  
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

アトリエ周りの木々の緑も色濃くなり、初夏を感じるこの頃。只今、北町アトリエの芝生の中の雑草取りに苦戦中。

その雑草に負けじと姫筍がニョキニョキと顔を出し、金曜日教室のお友達を待っています。

5月12日、風が強かったものの気温が25度、熱いくらいの日差しを受けて40人の手で20回目の田植えを行いました。

福島県観光大使のうさたにパイセンさんにも飛び入り参加いただきました。グニョグニョ・ベタベタの田んぼに入って「ドロパックでお肌ススベになったよ・・・」なんて言ってましたよ。来年からはお母さん達も田植え参加いかがですか。

田植えから2週間、天の粒の苗も根付いたよう、水面で風にゆらいている様子が子ども達のように、愛おしく感じます。

令和6年度も、ひとつひとつの努力と苦労、そして失敗もスパイスとして、大きな収穫がありますように・・・願います。



未就学児コース・ジュースやさん



低学年コース・緑の混色練習



3年生・初めての油絵—ネギボーズ



5年生～・油絵—筍、キャベツ・玉葱

## 4・5月の**かがぞうけいきょうしつ**では…

### 未就学児：ジュースやさん

絵の具や筆の名称や使い方の説明。混色をしながら話を聞く態度を身に付け集中力を養う。混色した色の発見から感動を

### 小学生低学年：お花いっぱい（混色練習）

本物の花よりきれいに描いたシャクシャクの花。画面いっぱいいたくさんの花を描きました。パレットの使い方を確認し彩色

### 小学3年生～：ネギボーズ（油絵）

慣れ親しんだ水彩絵具とは全く違う油絵具で油絵に初挑戦。パスで下描きをして油絵具で下塗り、本塗りして仕上げです

### 中学生以上～観察描写から構成（油絵）

キャンバスに筍・芍薬を画面に構成。観察描写をして油絵具で質感、質感を表現。バックはそれぞれの世界で仕上げ

## 6・7月の**活動予定** & **事務連絡**

- ・全学年 陶芸教室 オリジナルお皿作りに挑戦！
- ・3年生 油絵に初挑戦です。

＜6月のご請求＞・月会費 に加えて 諸経費

・油絵具セット注文の方はその代金

＜7月のご請求＞・月会費のみ

※勉強始めにお渡ししました納入通知書をご確認ください。

- 1学期の最終教室は
- ・水曜日コースは17日 金曜日コースは7月19日



## 一服どうぞ！！ 自然の恵み、にがみそのまんま緑色 **新茶** めぐすりの木茶

めぐすりになる木だからメグスリノキ 八十八夜も過ぎ、まもなく**新茶**できます。

めぐすりの木はカエデ科の落葉樹で、効用から千里眼の木とも呼ばれます。秋には美しく紅葉します。相馬地方では、古くから樹皮を煎じた汁で洗眼する方法があり、肝臓疾患にも効くといわれていました。好奇心旺盛な倉本が思考錯誤を重ね、美味しいめぐすりの木茶が出来上がってから28年になります。

我が家でもデイサービスでも毎日愛飲しています。ほろ苦いが甘い感じが、子どもからおじいちゃん・おばあちゃんにまで喜んでいただいております。みなさんも一服どうぞ！やみつきになってしまいますよ。冷茶にしても美味しいです。

お酒大好き私達も、おかげで健康。でも、お酒飲みすぎには注意しましょう。

お茶ばかりでなく、葉っぱ入りクッキー、てんぷらなどにして丸ごと食べてもグー。茶入りプリンも美味しかったよ！！

7月第4日曜日は **親子の日**

今年の7月第4日曜日は **7月28日**です。

## アトリエって楽しいな!

パワー全開の子ども達に囲まれ、毎回汗をかきながら子ども達に負けじと奮闘しているスタッフ。 デイサービスのおじいさん、おばあさん達も、子ども達の元気な声、明るい笑顔に「お～来たな～」と顔がほころび嬉しそうです。犬のミルキーも喜んでかけまわります。

毎回金曜日のアトリエは大にぎわい。

豊かな発想で描いた子どもらしい絵とニコニコ

無邪気な姿に“ほっ”と癒され“ほかほか”“ほっこり”

子ども達は陽だまりのような存在です。とても楽しい時間が流れます。



幼少期はとってもかわいい時期。いろいろなことに好奇心を持ち、興味や関心、自分でやってみたいという気持ちが芽生えてくる大事な時期でもあります。これから芽を出し花を咲かせるために、しっかりと土台作りをし、強い根っこをはらなければなりません。

そこで幼稚園コースでは、まず、子ども達が造形活動や体験活動に興味を持てるようなカリキュラム作り、楽しくのびのび活動ができるような雰囲気や心掛けています。上手に描いたり造ったりする技法の指導も大事ですが、その前に子ども達の話や声、声をかけたりすることに力を入れ「〇〇したい」と意欲が出るよう導きたいと思っています。

「やる気」と「意欲」があれば、その効果は期待できます。何事も好きになれば長く続き、長く続けば力はつきます。

お子様の大事な時間をお預かりするわけですから・・・

「楽しい!」「毎日行きたい!」と、言ってもらえるような魅力的な教室になるよう、頑張りたいと思います。(友美子)

## ーピカピカの1年生の巻・リーダーさん編ー

5月の連休も明け、それぞれの新しい環境、生活のリズムに慣れた頃でしょうか。 新一年生の いろはリーダー・幸紀リーダーは今・・・?

二人にインタビューしました。

[①これまでの生活との違い](#)

[②今になって思い出すアトリエの事](#)

[③アトリエの後輩へメッセージ](#)

倉本いろはリーダー(原町高校卒業、会津若松市にある会津大学コンピュータ理工学部1年生に在籍) 会津若松市で初めての一人暮らし7人家族から一人暮らしになり、寂しいかなと思いきや、自分のペースで生活ができ、落ち着いて学生生活を送っている様子です。

①家では何もなくても、たくさんのご馳走が食卓に出てきたが、一人暮らしを始めて自分で作らなければならないのが大変。でも相馬の味を思い出しながら料理をして味を再現している。

②いろいろな学校の人が教室に通っていたので、いろんな話ができて、楽しかった。絵を描きながらいろんな発見ができて、没頭できたこと。

③夢中になれる事を見つけ、それに向かって楽しみながら進んで欲しい。

佐藤幸紀リーダー(北海道教育大学卒業、広野町立広野小学校赴任3年生24名担任) 教員採用試験は、北海道と福島県どちらも合格。地元福島県に戻り小学校の先生になりました。ご両親も小学校の先生です。

①学生の時とは違い、責任を伴う仕事で大変さはあるが、達成感とやりがいのある仕事であると実感している。

②田植えや味噌作りや陶芸などのいろいろな体験活動が心に残り、思い出が深く刻まれている。

③今経験した事が、いずれどこかで生きてくる。成功、失敗に関わらず何事にも挑戦して欲しい。

## 田植え体験 5月12日(日) 晴れ 気温25度 風強い 参加人数 総勢40人



## 水が 土が ドロが 先生!

五月晴れの田植え日和、今年も田んぼいっぱい子ども達の歓声が広がりました。中学生が、幼稚園児から小学生のリーダーになり、総勢40名が参加。大きな子が小さな子の面倒をみている姿を目にすると、「あーいいなあ」と、かがきょうしつのよさを感じます。

田んぼに着き、先ず倉本信之先生から植え方の見本を見せてもらいました。子ども達の表情は、早くやりたくてほとんど頭に入っていないグループと、果たして自分のできるのだろうかと不安なグループとに分かれていたように感じました。

案の定、キャアキャア騒ぎながら、下半身泥まみれになりうれしそうに苗を植えていく子。「アメンボがいた!」と喜び子。泡が出てくると観察する子。足の泥が乾いて固くなってきたと驚く子。田んぼの感触や発見を楽しんでいました。

しかし、それに対して、「こわい」と一歩も足を入れない子たちも。「気持ち悪い!」「転んでよごれたらいやだ」と、すぐ田んぼから上がる子も何人かいました。みんなと田植えはしたいけれど、泥には入りたくない。それでも、一生懸命あぜから苗をポンポン投げて渡してくれた子もいました。

コロナの影響を感じつつも、子どもたちには知識ばかりではなく、様々な体験を通して仲間から、自然から、たくさんを感じ取って欲しいと思いました。それが、大人になってからの生きて働く力となるからです。

2年前の田植えの時、泥まみれの子もたちの姿を見て、信之先生が「お母さん喜ぶぞ!」と発した意味をもう一度思い出した田植えでした。(裕子)

ふれあいサポーター館 NPO法人「ふれあいサポーター館」アトリエは12日、相馬市南飯淵の水田で田植え体験教室を開き、子どもたちが自然に親しんだ。恒例行事として毎年実施しており、同法人が運営する市内2カ所の絵画造形教室に通う約40人が参加した。子どもたちは泥だらけになりながら、県オリジナル品種「天のつぶ」を植えた。収穫後はおにぎりにして、子どもたちが味わうという。

体験教室で田植えに挑戦す子どもたち 相馬市南飯淵



## 美味しかったおやつ

田植えが終わった後は友美子先生、百合恵先生が筍ご飯をおにぎりにしてくれ、コロッケで昼前の腹ごしらえ。昔は、田植えが終わった後は早苗饗(さなぶり)という田植え終了のお祝い会・慰労会を行ったそうです。高橋さんからはお世話になったうえにジュースまで頂きお疲れ取りに早苗饗(さなぶり)をしました。